

密議煩親展

戴東行仕候付里書高未
御而三音申上候處閣下長座
之陣名之由勇徳志隨 瑞
被並旨奉謹願候殿者近旨之
事辭之悲憤身候に依其筆陶
下は所頼公明公大誠敬服之云
存候惟此度我政浴之進埃
も徳候一好時檄下被考得者
此際閣下益公明之議ヲ執らば
日本ヲ無政府ニ不幸ヲ被治故
候極致度為 土室為邦を
今候ニカレ事ヲカテ切望之至
奉存候
立目之事情既ニ法蘭西可有
之候得共見聞之儘巨細難
真申傳閣下陳上候地估
置候間彼是日人ヲ法聽也
官敷速取極ニ急ニ申上候
候
閣下上伊藤侯談離間
レトテ恐漢有之哉 序候
者此是也 兼テ法戒心被出
度設ト目矣 議此度之盛置
候多ク御不満足被為在
候共此際法忍容此漢
候

日大受身文記要

日食未才之個様對
御拜上如望此際或
傳テテ觀之此際或
事ニ就テ政殿手閣下
非事ナシトスカラテ設
之ラ整理スルハ今日杜
難事ト不被存又閣下
之レ為在事ト存候得此
之政弊ニ無論此レ法原
之益ニ就建之程奉其候
是唯粹私其候ニテ
朝野公望法座候
會計検査院ヨリ被査宥
連署以テ其非ヲ公議ス
内味致レ 聖上聖御之
期之内内呈書事取極
臣候間右會達申進置候
兼ル所據ハ元老院農商
務省司法省ヨリ上書之
議允由是之旨念込由進
候
閣下上伊藤侯談離間
レトテ恐漢有之哉 序候
者此是也 兼テ法戒心被出
度設ト目矣 議此度之盛置
候多ク御不満足被為在
候共此際法忍容此漢
候

ヲレク閣下幸ニ梓ハ平生コ推
二其不徳ノ非ヲ怒タルレ故
テ尊嚴ヲ冒噴シ謹日百拜
拜暮 小野梓手池
呈
參議大隈公執事

百拜
此奉書官右尉彦
管理法州農務省
的者以爲奉書
必上可休心内
呈

目 次

『早稲田大学史記要』第50巻〈通巻第54号〉
2019（平成31）年2月28日発行

〔巻頭文〕

大学史資料センターの研究機能	大日方 純 夫	1
----------------	---------	---

〔論文〕

足尾鉍毒事件と早稲田大学	中 嶋 久 人	13
1980年代以降の大学政策とその大学への影響：1 総論	沖 清 豪	45

〔事業報告〕

大隈重信にとっての歴史認識——井伊直弼評価を中心に （「大隈祭」における講演活動）	廣 木 尚	83
大山郁夫と早稲田大学（「早稲田学」公開講義記録）	黒 川 みどり	101

〔展示等記録〕

早稲田大学歴史館開館記念企画展 「東京専門学校に集った学生たち——在野精神の源流」	廣 木 尚	133
2018年度秋季企画展 「大山郁夫と学生たち——時代の中の「早稲田精神」」	田 中 智 子	151

〔早稲田大学百五十年史〕

早稲田大学大学史セミナー拡大版シンポジウム「新しくみえてきた早稲田の歴史 ——『百五十年史』編纂過程の成果と課題」		
『早稲田大学百五十年史』の概要とそこに求められるもの	湯 川 次 義	169
『早稲田大学百五十年史』と市島謙吉の筆記資料	木 下 恵 太	185
よりよき『百五十年史』のために	寺 崎 昌 男	215
早稲田大学の電算化に関する座談会（聞き取り記録）	村 上 義 紀・赤 座 吉 保・高 木 直 二・黒 田 学	225
元常任理事（副総長） 村上義紀氏に聞く（聞き取り記録）		287
編纂事業の進捗状況	鳶 田 修	365

〔2017年度下半期・2018年度上半期 大学史資料センター彙報〕

展示、講演会、刊行物、寄贈資料、レファレンス、協力事業、 所長・運営委員		375
---	--	-----

『早稲田大学史記要』総目次（創刊号～第50巻）		414
-------------------------	--	-----

（表紙） 大隈重信宛小野梓書簡
（題字） 木 村 毅